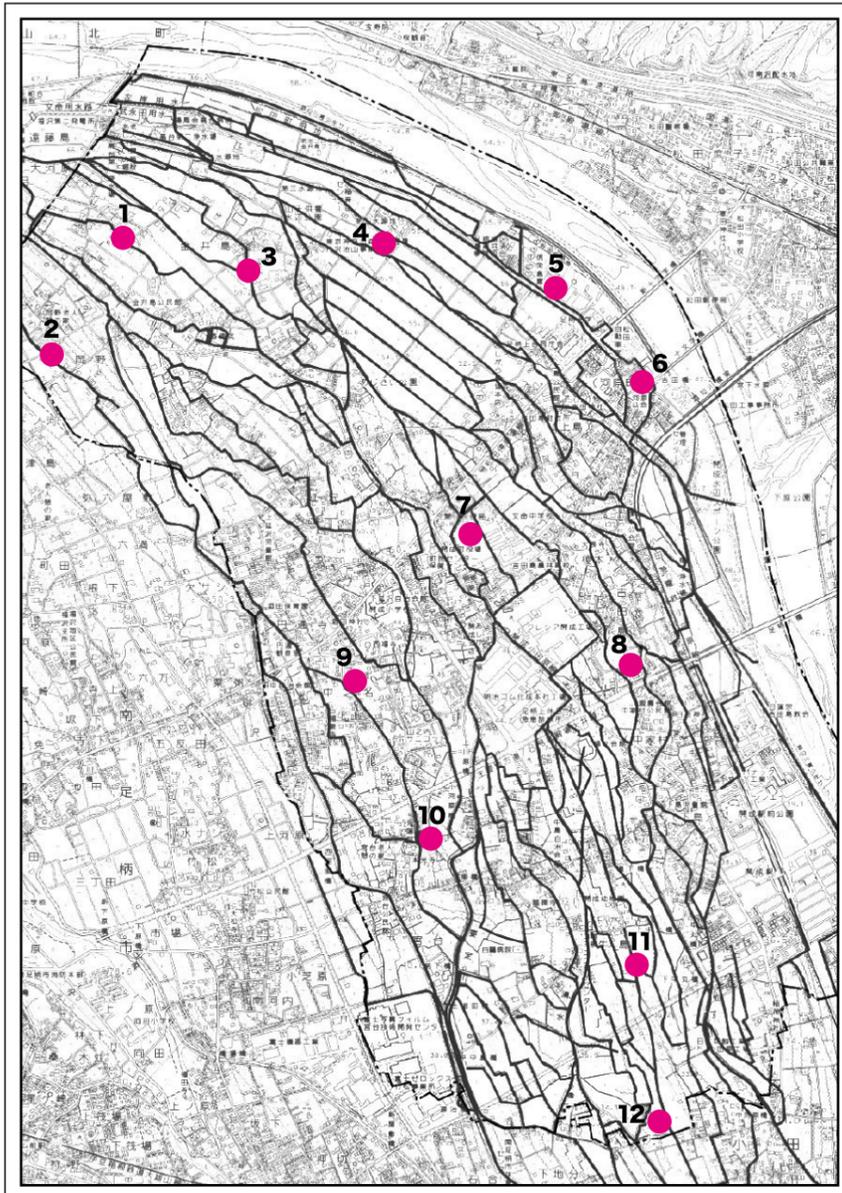


調査の結果(前年度比較)

地点番号	地点名	平成19年度調査結果	平成20年度調査結果	比較
1	金井島234番地北側水路	65	85	↗
2	岡野81番地西側水路	65	65	→
3	金井島1280番地付近水路	45	75	↗
4	あじさい農道東北部付近水路	55	45	↘
5	信栄倉庫横水路	50	40	↘
6	上島2735番地付近水路	70	70	→
7	役場北側水路	55	45	↘
8	中家村クレシア下流水路	85	85	→
9	中之名430番地付近水路	45	60	↗
10	宮台浄蓮寺南側水路	50	80	↗
11	南部コミュニティ西側水路	30	53	↗
12	牛島小田原境水路	95	95	→



結果の詳細は町ホームページに掲載しています。HP <http://www.town.kaisei.kanagawa.jp/>

「水辺の環境調査」で 町内河川環境を再発見



9月6日(土)、町民による、開成町を流れる水路の河川調査を行いました。この調査は、水辺への関心が薄れつつある今日、町民自身が河川環境を調査することで、身近な水路や河川を見つめ直し、今後の河川・水路のあり方を考えるとともに、調査データを蓄積していくことを目的に実施したものです。

なお、今回の調査結果は、「開成町環境基本計画」における「河川保全指定制度」を推進していくうえでの貴重なデータとして活用していきます。

環境防災課 84-0314

評価が一番よかった場所の風景(牛島小田原境)

前年と比べて

前年度より5地点で評価点数が上がり、4地点で評価点数が同じ、3地点で評価点数が下がりました。

評価が上がった5地点は、前年度に比べ調査時期を早めたことにより、植物や生き物が

多く確認された自然が残っている水路でした。その一方で、評価が下がった4地点は、調査時期にかかわらず、ごみの散乱や、親しみやすさを感じられないなど人工的に手が加えられた水路でした。

今後は、クリーンデーなど、地域住民の協力により、ごみのない河川・水路にすれば評

何を調べたの？



川幅を計測

当日は、自転車移動するに少し暑いぐらいの陽気でしたが、朝早くから13人の町民が参加しました。参加者は4班に分かれ12地点のうち各々3地点を担当しました。

調査地点は、経年の変化を確認するため前年と同じ場所としました。

各調査地点では、護岸の様子、流れの速さ、水質、生物の有無、ごみの有無といった項目の調査や簡易的な水質検査を行い、各班協力し合い熱心にメモをとっていました。

評価の方法は？

各調査地点で調査を終了

した後、町民センターに場所を移し、各班で、調査地点ごとの整理カルテに色を塗り、調査結果をまとめました。

各調査地点の擁壁などの様子、水のきれいさ、生き物の生息の有無などの9項目を最高10点で、水のおおい、なつかしさの2項目を最高5点の合計100点で評価しました。

その後、評価結果とともに、調査地点の様子や印象、調査をした感想などを発表しました。



当日整理に使ったカルテ

今後の取り組み

来年度は、親子で参加できるよう夏休み期間に実施を考えています。

今回の調査結果や皆さんからの意見は、今後の町の身近な水辺の保全や整備などに役立てていきます。



良い水路と悪い水路



水路の様子を確認

調査の結果、点数がよい場所は石積みや土の護岸の場所でした。逆に、悪い結果がでた水路はコンクリートの護岸でした。しかし、水質は、どの場所も澄んできれいな水でした。「クリーンデーなどで清掃をするとよい」「水路の真ん中に石があるとごみがたまるから除いた方がよい」などの意見や感想も出されました。今回の調査で新たな発見や、再確認したことがあった参加者も多かったようです。